



# コモンズ30 +しずぎんファンド

〈月次報告書〉



## ● 基準価額の推移



## ● ファンドのデータ

(2015年6月30日付)

基準価額	11,130円
純資産総額	224百万円
受益権総口数	201百万口

## ● 基準価額の騰落率

(2015年6月30日付)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	設定来
▲2.86%	1.13%	12.70%	11.30%

## ● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	91.4%	▲0.5%
静岡銀行株式	8.5%	0.2%
現金等・その他	0.1%	0.4%
構成銘柄	31社	±0社

## ● 分配実績

初回決算未到来のため、分配金の実績はございません。なお、初回決算は2015年12月18日の予定です。

## ● 投資行動とパフォーマンス (コモンズ30+しずぎんファンド)

当ファンドは、コモンズ30マザーファンドを純資産総額の90%を組み入れ、静岡銀行株式を10%を上限として高位に組入れることを運用方針としています。6月末における各組入比率は、コモンズ30マザーファンド91.4%、静岡銀行株式8.5%です。当ファンドの月間リターンは2.86%の下落となりました。なお、コモンズ30マザーファンドは2.43%の下落、静岡銀行株式は6.09%の下落となっています。コモンズ30マザーファンドの運用状況については下記をご参照ください。

## ● 投資行動とパフォーマンス (コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

### ◎6月の組入銘柄 (組入銘柄数、新規買付銘柄・全売却銘柄の有無)

6月末の組入銘柄は、前月と同様に30銘柄となりました。「投資委員会」において、運用部は前月に引き続き全売却候補1銘柄を提案しました。提案銘柄について活発な議論が行われましたが、継続審議となっています。

### ◎6月のポートフォリオの構成比 (株式組入比率)

6月末の株式組入比率は95.4%となり、残りの4.6%程度は現金などを保有しています。株式組入比率は月を通して96%程度を維持しました。

### ◎6月の組入上位10銘柄と投資行動

6月の組入上位10銘柄は、「楽天」、「信越化学工業」、「東レ」、「資生堂」、「エーザイ」、「堀場製作所」、「日東電工」、「ユニ・チャーム」、「セブン&アイ・ホールディングス」、「クボタ」です。主な投資行動として、当月は大きな資金流入がありましたので、株価下落により組入比率が低下した「ディスコ」や「旭化成」などを中心に買い付けました。また6月4日に増資を決議した「楽天」についても、株価下落により組入比率が低下しましたので、買い付けを行っています。このような投資行動の結果、当ファンドで保有する30銘柄の組入比率は最低2.97%～最大3.40%の範囲に収めています。

### ◎6月のファンド月間リターンとその要因

6月のファンド月間リターンは2.43%の下落となりました。あくまでご参考ですが、同月のTOPIXは2.58%の下落となっています。なお保有銘柄における月間リターン上位3銘柄は、「資生堂(+11.32%)」、「ユニ・チャーム(+5.88%)」、「エーザイ(+5.33%)」でした。一方、下位3銘柄は、「ディスコ(▲12.67%)」、「旭化成(▲8.96%)」、「カカクコム(▲8.42%)」でした。

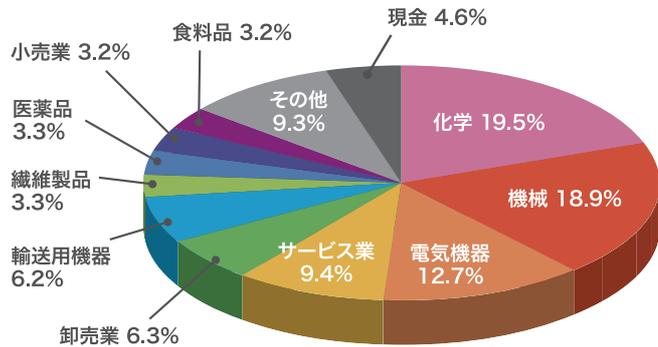
### ◎運用・調査体制について

是非、5ページ目をご確認下さい。

運用部長・チーフポートフォリオマネジャー 糸島 孝俊

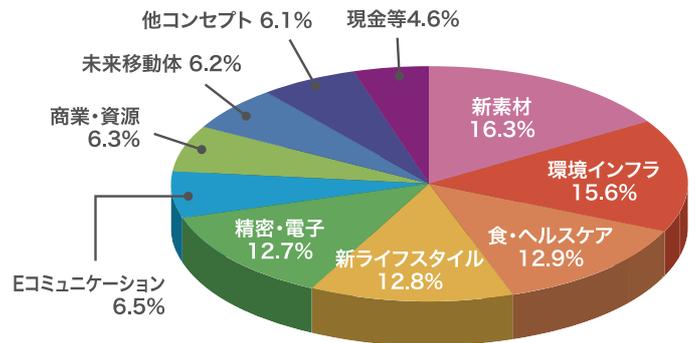
## ● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

◎業種別構成比



◎未来コンセプト別構成比

(2015年6月30日付)



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

※未来コンセプトは全10種類。詳細は5ページ参照

## ● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2015年6月30日付)

銘柄名 [コード]	業種	未来コンセプト	概要
楽天 [4755]	サービス業	Eコミュニケーション	社内公用語の英語化、海外企業買収など、成長に向けた強い意欲が際立ちます。社員による店舗サポートが強みで、理念の共有、教育等の人的資産投資を積極的に行っています。
信越化学工業 [4063]	化学	新素材	収益に対しての執着心が強く、強いポジションを築いています。塩化ビニルなどの汎用品と、半導体ウエアなどの先端テクノロジーの双方で高いシェアを獲得しています。
東レ [3402]	繊維製品	新素材	レーヨンの生産から始まり、多角化しながら発展。繊維での縫製品事業や炭素繊維複合材料は顧客との強いコネクションを持ち、高い成長が期待されます。自前主義にはこだわらず、M&Aやアライアンスにも積極的。先端材料No.1企業目指し邁進しています。
資生堂 [4911]	化学	新ライフスタイル	巨大市場の中国、アジアで認められた美の感性、アジア人の肌を知り尽くした技術、おもてなしの心(接客力)が成長の牽引力となっています。
エーザイ [4523]	医薬品	食・ヘルスケア	世界的な競争力のある創薬メーカーです。企業理念の定款への記載や、役員選任理由を明確にした200ページの株主総会招集通知の作成などガバナンスの基本観がとてもしっかりしています。
堀場製作所 [6856]	電気機器	精密・電子	創業者経営哲学「おもしろおかしく」を継承し、国際展開、自動車用から科学(研究)用、半導体用、現在の医療用まで、時代に応じて事業分野を拡大中です。ニッチ市場で高いシェアを誇り、事業分散と地域分散を組み合わせたマトリックス経営をしています。買収・提携も巧みです。
日東電工 [6988]	化学	新素材	成長が期待される環境や医療向けなどに事業領域を柔軟に変化させながら、固有の技術をベースに、シートやフィルムに付加価値を加えた製品で成長しています。それぞれの地域ごとに品質や価格を調整し、シェアの獲得を目指しています。
ユニ・チャーム [8113]	化学	食・ヘルスケア	これまで培ってきたマーケティング力を生かし、新興国ではトイレタリーで、先進国ではペットケアでの成長を目指しています。経営の仕組み化や、他社から学び継続的改善をおこなっていることは、強みの一つです。
セブン&アイ・HD [3382]	小売業	新ライフスタイル	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透しており、オムニチャンネル、セブンイレブンの大量出店、北米でのコンビニ買収戦略、などでさらなる高みを目指しています。コンビニの中で、同社にぴったりくる表現として、「ダントツセブン」、「流通革命の中で、良いポジショニング」という感じです。
クボタ [6326]	機械	環境インフラ	長期的に世界の食糧需要が増加するなか、世界の競合企業に比べて、水田用、中小型の農機具で高い競争力を持っています。今後は、特にアジアでの成長が期待されます。

## ● 新規組入投資先

なし

## ● 今月のピックアップ!

6月はディスコの株価が5月末比で12.67%下落と大幅に下落しました。高水準にある受注が7～9月期以降減速傾向が強まるのではないかと懸念されるなか、株価が年初より2割程度上昇し利益確定の動きが広がったことなどが背景にあります。通信用途を中心に半導体市場が活況のなか、半導体製造装置需要は旺盛に推移し、同社の営業利益は2013年度、2014年度ともに前期比5割増益ペースで拡大してきました。4～6月の受注も、中国ローカルのOSAT(半導体の組立および検査を受託する会社)関連やイメージセンサ、電子部品関連向けを中心に好調に推移しました。ただ、スマートフォン市場の成熟化が進行していることで、今後受注は減速し、増益率も今期から来期にかけて急速に縮小していくのではと株式市場ではみられています。

なお、株主総会で社外取締役が1名増員され、独立社外取締役2名体制となりました。同社のガバナンスが一層強化される見通しです。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

## ● 企業との対話

6月19日、東京以外での初の30塾を大阪で実現、社是に「おもしろおかしく」を掲げ、京都を拠点に事業を展開する「堀場製作所」のダイバーシティマネジメントの取り組み「HORIBAステンドグラス・プロジェクト」について、リーダーの森口真希さまよりお話をお聞きすることができました。

「HORIBAステンドグラス・プロジェクト」とは、同社にて昨年よりスタートした、女性だけでなく多種多様な人財が一人ひとり輝ける企業を目指すプロジェクト。2児の出産を経て職場復帰されたものの「無意識の壁」に囚われた森口さんご自身の経験もお話くださりながら、国際的に事業を展開する同社における気づきやチャレンジをご紹介くださいました。



堀場製作所 森口 真希さん

多くの方々にご参加くださり、グループワークや質疑応答も活発に行われました。驚いたのは参加者の男女比率が4対6、多くの男性にご参加くださったことです。「『無意識の壁』をいかに解消していくか、身近な例で考えるきっかけになりました。「チャンスの平等」のお話は大変参考になりました。」【30代 男性】「どこの会社でも復帰後の女性のモチベーションやキャリアステップを課題とされていることに共感しました。現在は女性だけでなく男性さえもリーダーを目指す方が少なくなっています。頑張ってください。」【女性】森口さまご自身からも「様々なバックグラウンドの方からのご質問やご意見を直接聞かせていただける場となり、大変貴重な機会でした」というご感想を頂きました。

今後とも引き続き、みなさまとの対話の時間を大切に、「今日よりもより良い明日」をつくる投資セミナーを様々開催して参ります。

◇当日の様子をコモンズ投信のFBにアルバムにしてご紹介させていただきました。

<https://www.facebook.com/media/set/?set=a.938337246188282.1073741853.188704644484883&type=3>

◇会長渋澤も自身のブログでご紹介させていただいております。

<http://alt-talk.cocolog-nifty.com/alternative/2015/06/post-449a.html>

マーケティング部 馬越 裕子

## ●メディアに登場!

日付	掲載メディア	ニュース
6月1日	日経電子版	<a href="#">「若い世代に広がるNISA」でこどもトラストセミナーを紹介いただきました</a>
6月2日	日経新聞	朝刊15面 一目均衡「統治改革の目的と手段」で伊井がコメントしました
6月5日	日経電子版	<a href="#">「楽天 5回目の増資でも勝ちパターンは通じるか」で糸島がコメントしました</a>
6月7日	日経電子版	<a href="#">マネープログカリスマの直言に「問われる投資家と企業の対話力」と題し、渋澤が寄稿しました</a>
6月9日	日経新聞	スクランブル 切り札は「株式購入権」で糸島がコメントしました
6月13日	TV東京	「マネーの羅針盤 ブルベアコンパス」に糸島が出演しました
6月10日	日経電子版	<a href="#">日経マネー 「ファンド大賞、独立系が連覇 順位には入れ替えも」でコモンズ投信が紹介されました</a>
6月10日	日経DUAL	<a href="#">渋澤健 チェンジメーカー7つの感情 第6回「今、仕事が大変なんだ」と言い続ける夫は悪か?」が掲載されました</a>
6月15日	TV東京	WBS「日本株のプロが気にするのは?」で糸島がインタビュー取材にお答えしました
6月17日	日経電子版	スクランブル・フラッシュ「日本株、買えない中で買う「守り」銘柄」で糸島がコメントしました
6月22日	日経新聞	「企業統治と機関投資家向け規範 2つのコード、市場変える」で伊井がコメントしました
6月23日	ロイター	<a href="#">アングル「年初来騰落率でインバウンド関連株躍進、急迫の製造業も」で糸島がコメントしました</a>
6月25日	日経電子版	<a href="#">「日経平均がITバブル高値超え 市場関係者の見方」で糸島がコメントしました</a>

## ●ちょっといい話

### ◎2つのコードは、長期的な企業価値向上を目指す

現在、資本市場では2つのコードの導入によって、大きな改革が進み始めています。具体的には、まず、昨年導入された「スチュワードシップ・コード」。これは運用会社などの機関投資家に対する行動原則です。何のために導入されたかといえば、資金を出していただいているお客さまに対しての責任を果たすことを目的としています。勿論、これまでも責任を持って運用することは求められていましたが、投資先企業との建設的な対話を通じて、投資先の企業価値向上に、より軸足をおくというものです。つまり、株主である機関投資家が、単なる企業への取材に留まらず、企業に対して投資家視点で中長期の企業価値向上に向けた提言をしていくこととなります。

もう一つは、先月6月1日から施行された「コーポレートガバナンス・コード」です。これは企業が、株主をはじめとするステークホルダー（消費者、従業員、取引業者、地域社会など）に対して責任を果たすことを目的としています。企業も、勿論、こうした責任を果たしてきたはずですが、これまで以上に攻めのガバナンス体制を構築し、より中長期で高い企業価値向上を目指すこととなります。企業側にとっては、その意味でも長期投資家はパートナーとしてこれまで以上に重要な存在となります。

この2つのコードは車の両輪です。2つのコードは、企業が「稼ぐ力」を高めて持続的な価値創造を実現することで、結果として資金の拠出者に長期的なリターンを還元する仕組みを強固にすることを目指しています。コモンズ投信の創業の理念は、まさにその実現を目指すところにあります。これまでも当社と企業との対話、さらには企業と受益者との対話にも積極的に取り組んで参りました。長期投資家が求められる時代、皆さまとともに企業価値向上に貢献できるように、頑張ってお参ります。



コモンズ投信株式会社 代表取締役社長 伊井 哲朗

## ● コモンズ流投資判断(コモンズ30マザーファンド)

### 「投資委員会と運用部」

- 新規組入投資先と全売却投資先の決定は、投資委員会での全員一致が原則
- 20%以上の現金比率についても、投資委員会で決定
- メンバーと役割は以下の通り

伊井 哲朗	代表取締役社長 最高運用責任者	・投資委員会議長 ・10~20%の現金比率の決定
辻澤 健	取締役会長	・非財務的な企業価値を含む経営の視点
糸島 孝俊	運用部長 チーフポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案 ・組入先ウェイトのリバランス(2%~4%) ・10%以下の現金比率の決定
上野 武昭	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案
鎌田 聡	運用部 シニアアナリスト 兼 ポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案

### 「投資先選びのプロセス」



## ● 未来コンセプトについて

当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

コモンズ流未来コンセプト10				
商業・資源	環境インフラ	代替エネルギー	新素材	未来移動体
精密・電子	食・ヘルスケア	新ライフスタイル	E-コミュニケーション	教育・娯楽

## ● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	指定販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

## ● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ● お申込みメモ

信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

## ● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
(株)静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静岡ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			